

散らカラ～ズエコプラスの御案内

ただの黄色ではありません！！

～環境に配慮したカラス対策ごみ袋～



カラス対策効果；特許4652756号
特許4652960号
CO2削減効果；特許3878623号

三井化学ファブロ株式会社
株式会社バイオマステクノロジー

カラス対策効果

○<カラスについて>

○視力

視力は人の3倍。色覚も視野の広さも人より高い能力を有する。

○ごみを漁る習性

都会のごみを餌にしているカラスはハシブトガラスという種類。基本的には雑食だが、どちらかというと肉類を好んで食べるので人間の食事の食べ残しは大好物。しかし、ごみ集積所を無作為に荒らしているのではない。優れた視力を駆使してしっかりと狙いを付けて漁っている。



○<散らカラ～ズについて>

○カラスに袋の中身が見えない理由

カラスは人間以上の色覚を持っている。それを逆手にとって、人間には袋の中身が見えるが、カラスには見えない特殊な加工をごみ袋に施した。この特殊なごみ袋は、特定の波長の光線透過率や反射率を抑制をする顔料(特許取得(*1))を使用しているため、カラスには袋の中身が見えず中に餌となるごみが入っていても認識できない。

黄色いごみ袋がカラスに効果があるように定着してしまったが、**ただ単に黄色ければ効果があるというわけではない。**

(*1)特許4652756号、特許4652960号

○実績

東京都杉並区
大分県臼杵市
鳥取県米子市 など

東京都杉並区では地元町会等と半年にわたる実験を行い効果が認められた。
大分県臼杵市では指定ゴミ袋として導入した結果、「カラスがいなくなった地域もある」(同市環境課)とその効果を認めている。

実験の様子



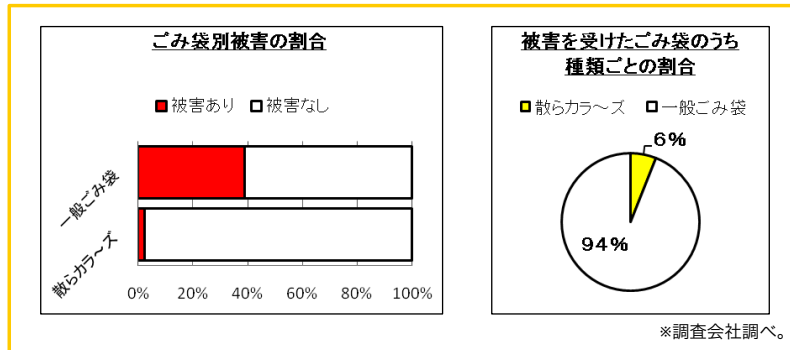
カラスが袋をみて袋を確かめているが、市販の半透明だけが荒らされた。

カラス対策効果

◦ <使用実績データ> 東京都杉並区

◦ 被害率

◦ 東京都杉並区梅里2丁目町会地域の集積所約170ヶ所で6ヶ月間、可燃ごみ収集日(全52回)に散らかラ〜ズと一般ごみ袋のカラス被害を受けた袋の数を調査した。



◦ 住民の声・調査会社のまとめ

- 散らかラ〜ズはカラスに効果がある。
- 実験前と後ではカラスの数が減った。
- 6ヶ月間でカラスが学習して効果が薄れるということはなかった。

CO₂削減効果

散らかラ〜ズ + バイオマス = 散らかラ〜ズエコプラス

<“エコプラス”とは>

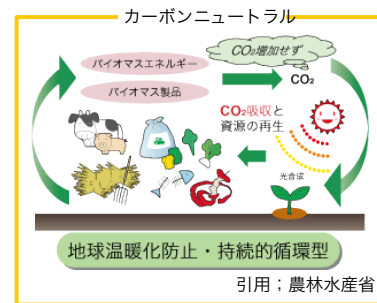
◦ 原料のBTペレット

純国産のバイオマス。資源米(飼料米、古古米など)に安全性の高いプラスチックのポリオレフィンを加えて特殊技術で合成している。汎用プラスチックと比較してもコスト、成形性、強度などほぼ同等。植物生育時の二酸化炭素固定(カーボンニュートラル)の観点からCO₂の削減効果がある。

◦ バイオマス

家畜排せつ物や生ゴミ、木くずなどの動植物から生まれた再生可能な有機性資源のことをバイオマスという。地球温暖化防止、循環型社会形成、戦略的産業育成、農山漁村活性化等の観点から、農林水産省をはじめとした関係府省が協力して、バイオマスの利活用推進に関する具体的取組や行動計画を「バイオマス・ニッポン総合戦略」として平成14年12月に閣議決定した。

◦ CO₂削減シミュレーション



項目	一般ごみ袋	散らかラ〜ズ エコプラス	備考
組成	PE=100%	PE=50% BTペレット=43%	単位：kg
焼却処理	3.14	2.73	燃焼時のCO ₂ 発生量
吸収	0.00	△0.55	バイオマスのCO ₂ 吸収量
基本原料製造	1.42	1.04	原料製造時のCO ₂ 発生量
コンパウンド製造	0.00	0.13	BTペレット製造時のCO ₂ 発生量
フィルム加工	0.28	0.28	製品加工時のCO ₂ 発生量
CO ₂ 合計	4.84	3.63	

CO₂
25%
削減

※原料製造、製品加工時のCO₂発生量は概算理論値。
 ※原料調達や製品の配送時のCO₂排出量は含まない。
 ※メーカー独自調査による。